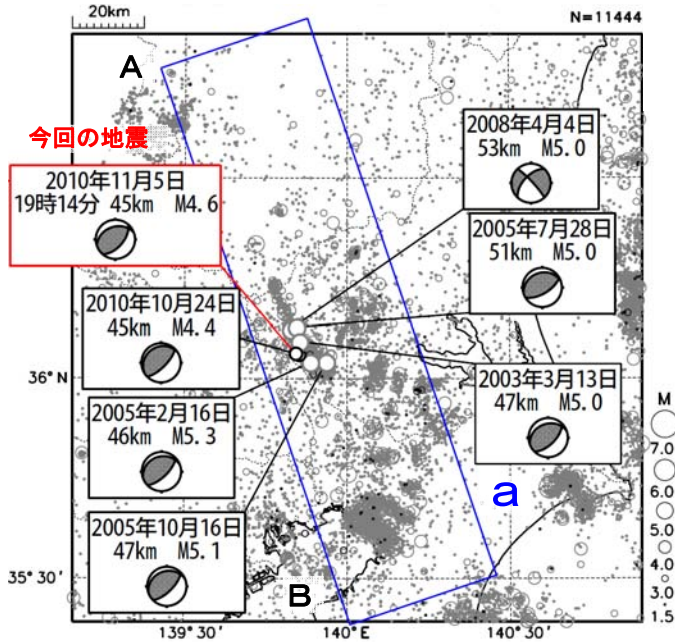
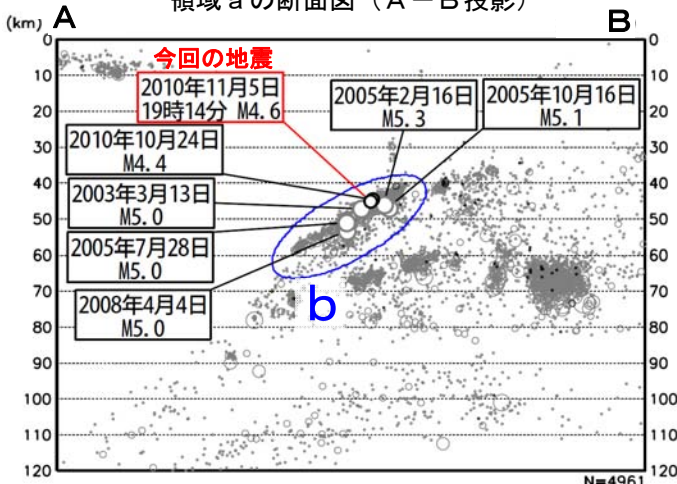


11月5日 茨城県南部の地震

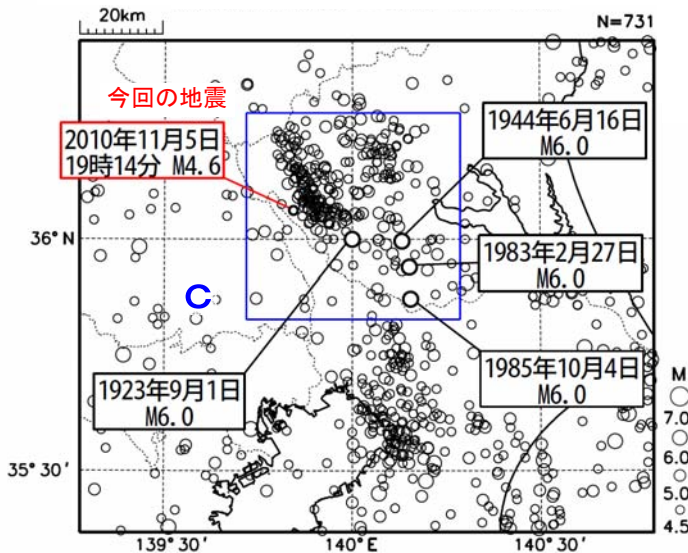
震央分布図 (2002年10月1日~2010年11月6日、
深さ0~120km、M \geq 1.5)
2010年10月以降の地震を濃く表示



領域aの断面図 (A-B投影)



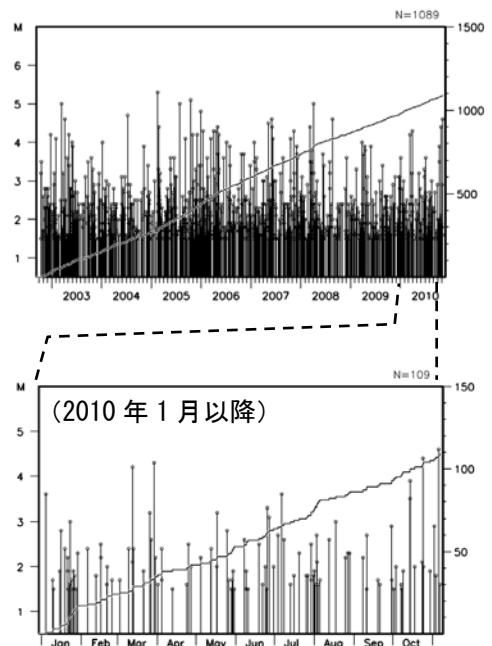
震央分布図 (1923年8月1日~2010年11月6日、
深さ0~120km、M \geq 4.5)



2010年11月5日19時14分に茨城県南部の深さ45kmでM4.6の地震 (最大震度4) が発生した。発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。ほぼ同じ場所で10月24日13時50分に深さ45kmでM4.4の地震 (最大震度3) が発生している。

今回の地震の震源付近は地震活動の活発な領域 (領域b) で、2005年2月16日にM5.3の地震 (最大震度5弱) が発生するなど、M5.0前後の地震が1~2年に1回程度の割合で発生している。

領域b内の地震活動経過図、回数積算図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M6.0の地震が4回発生しているが、M6.0を超える地震は発生していない。

領域c内の地震活動経過図

